



「政治は遠い世界のこと」——私もそう思ってきました。
ですが、それではこれからの世代に道は開けません！
だから、私は「ママでもできる、新しいやり方」で選挙に挑戦しています。

わたしの挑戦の基本方針「3ない原則」

1 人のお金に頼らない

活動資金は自分の貯金の範囲でまかないます。
無理な献金や寄付に頼らず、自立した形で挑戦します。

2 事務所をもたない

選挙 = 事務所を構える従来のやり方ではなく自宅や地域を拠点に活動します。
経費をかけずシンプルな政治に。

3 後援会につくらない

従来の後援会組織に頼らず、共感いただいた方の応援を力に変えていき、SNSやチラシで市民と直接つながる政治に。

私は佐賀市に暮らす、ごく普通の二児の母です。

結婚を機に5年ほど離れていましたが、再び地元・鍋島町で暮らすようになりました。

子育てが始まると、想像以上の大変さを感じる日々、、、

育児を通じて見えてきたものは「子育て」や「介護」、「働き方」

どれも生活と結びつき、お互いに影響し合っている、ということ。

高齢化社会の中、介護の現場でも人手が足りないという声をよく耳にしますが、共働きが当たり前になってきた、子育て世代にも、もっと気軽に頼れる仕組み、

また「孤育て」を防ぐ支援制度や仕組みが必要だと考えます。

子育て世代にできること、そして佐賀市の未来をつくるために。

佐賀市みなさん！なんりあけみに声を聴かせてください！

なんり あけみ
ってこんな人！！

鍋島町出身・46歳
二児の母が佐賀市を変える挑戦！！

西九州大学卒業後、佐賀市内の富士包括支援センターにてソーシャルワーカー、グループホーム明日葉ではケアワーカーとして勤務、高齢者の生活支援に深く関わる。

26歳の時にオーストラリアにワーキングホリデー。

多国籍な共同生活を通じて多様な価値観と共存する大切さを学ぶ。

帰国後は、オルビス株式会社のビューティーアドバイザーとして勤務、

延べ1万人の女性の悩みに寄り添い、傾聴力と提案力を培う。

現在は、リラクゼーションサロンを経営する傍ら、南里英語教室にて経理事務を行う。

鍋島小おはなし会、地域清掃ボランティア(代表)、手話サークル、PTA本部役員などに参加中
防災士・手話検定・食育スペシャリストなどの資格保有。



10秒で出来る応援!! 「なんり あけみ」を広める!!
SNSで情報拡散して応援お願いします!!

Instagramで応援



akemi_nanri.1025
フォロー・いいねで拡散!!

Facebookで応援



なんり あけみ
友達登録・いいねで拡散!!

現役ワンオペ
育児ママ

佐賀市の 孤育てを ゼロに!!



元ケアワーカー
元ソーシャルワーカー



佐賀市議会議員候補

なんり あけみ



育児支援
拡充



PTA
制度改革



中学校
完全給食



体育館
エアコン



教育現場
デジタル活用



いのちを
育てる授業

働く現役ママを市議会に!

佐賀市議会の女性議員は現在わずか4名だけ。
国が示す目標「地方議会の女性比率30~40%」に大きく届いていないのが状況です。
現役で小学生を育てる、子育てママ議員もゼロ。
このままでは、子育て・介護・女性の働き方などの重要な課題が当事者視点で政策に反映されません。

